

第36回 J J B F 埼玉県中学生野球選手権大会 要項

2021.02 版

1 目的

- 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社

4 期日

1st ステージ

☆多 3チームによるリーグ戦 各リーグ1位のみが2ndステージ進出
5/8 (土) 9 (日) 15 (土) 16 (日) 22 (土) 23 (日)
29 (土) 30 (日) 8日間

↓

2nd ステージ

☆多 POWER-LEAGUE 決勝トーナメント 1、2回戦・準決勝(2日間)
HOPEFUL-LEAGUE 決勝トーナメント準々決勝・準決勝(1日間)
6/5 (土) 6 (日) 12 (土) 13 (日) 19 (土) 20 (日) 26 (土)
27 (日) 7/3 (土) 4 (日) 10日間

↓

FINAL

☆多 POWER-LEAGUE 決勝 HOPEFUL-LEAGUE 決勝
7/10 (土) 予備日 11 (日) 22 (木 祝) 23 (金 祝)
ファイナル進出チームの都合により変更あり。
7/10 (土) 11 (日) 会場未定 22 (木) 23 (金) 川越初雁球場

※出場チーム数により、大きく変更になる可能性があることをご了承ください。

5 リーグについて(表彰および上部大会について)

今大会は、「POWER-LEAGUE」と「HOPEFUL-LEAGUE」のどちらか一方を選択し、参戦ください。
両リーグ同時進行で大会を行います。

- (1) 「POWER-LEAGUE」: 従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。優勝チームは、全国大会への出場権を得ます。最大参加チーム数48チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状 **3位** 3位楯 賞状

◆「POWER-League」の優勝チームおよび上位入賞チームは以下の大会などに推薦します。

- ・優勝、準優勝チーム⇒全国中学生野球 岩手大会(7/31(土)～8/4日(水))
- ・神奈川県笹尾杯(8月中旬 開催) ※推薦チーム数は今現在、未定

- (2) 「HOPEFUL-LEAGUE」: 野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく(2, 3年生が15名以内)」「中学校から野球を始めた選手が多い」など
発展途上のチームによる大会。最大参加チーム数24チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状

◆「HOPEFUL-LEAGUE」の優勝チームおよび上位入賞チームは以下の大会などに推薦します。

- ・優勝チーム 東京サマーオープン(8月上旬 開催)
- ・神奈川県笹尾杯(8月中旬 開催) ※推薦チーム数は今現在、未定

☆推薦チームが出場する大会の実施については、今後の社会情勢によります。

- 6 使用球およびバット ①M号球
 ②試合に際して、**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
 ③バット：JSBB の認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。

- 7 参加資格 県内中学校在籍または在住の中学生によって構成されたチーム
 また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

(1) 1st STAGE 3チームリーグ戦（A、B、Cの3チームによる）

- 第1試合 A 対 B （審判Cチームから4名）
 第2試合 C 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）
 第3試合 C 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人（顧問、コーチ、保護者）を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。

※審判費として、1会場3000円まで支払います。（3名×1000円）少額で申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

(2) 2nd STAGE

POWER-LEAGUE（16チームによるトーナメント1・2回戦 4会場／準決勝 2会場にて実施）

決勝トーナメント1、2回戦（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

- 第1試合 1回戦 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 2回戦 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準々決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

準決勝（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

- 第1試合 1回戦 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 2回戦 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）

HOPEFUL-LEAGUE（8チームによるトーナメント・準々決勝 準決勝 2会場にて実施）

決勝トーナメント準々決勝、準決勝（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

- 第1試合 準々決勝 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 準々決勝 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

(3) **F I N A L**（POWER-LEAGUE HOPEFUL-LEAGUEそれぞれ同日・同会場にて実施）

第一試合 POWER-LEAGUE

決勝戦 本連盟より派遣

第二試合 HOPEFUL-LEAGUE

決勝戦 本連盟より派遣

- 9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡してください。

(1) 参加費 1チーム 4,000円

(2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数

※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

- ① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。
- ② 100分を超えて新しいイニングには入らない。
- ③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は**引き分け**とする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク（**継続打順による0アウト1・2塁**スタートの特別延長戦）を行う。これを**2回**繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。

- ④ 投手の投球イニングは、**1日につき7イニングまで**とする。（タイブレークの場合は含まない）※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。

例

A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、

A投手は、同日の試合では、あと1イニング（3アウト）登板することが可能である。（またB投手は、同日の試合では、あと6イニング（18アウト）登板することが可能である。）

※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げるができる。

- ④-特別：3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について（条件の平等化について）

7月○日（土） A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bの群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げた。

雨天のため、翌日に順延

7月△日（日） A 対 C Aは埼玉投手は投げられない。（ただし（リーグ戦はないが）タイブレークになった場合は投げられる。）

Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。

↓ **この場合？**

B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げるができる。

Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニングまで残り投げるができる。

- ⑤ コールドゲームは5回以降7点差とする。
- ⑥ ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には、別途指定する。
- ⑦ 打者、走者、コーチはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。
- ⑧ 最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。（本大会において**同一選手が複数のチームでの複数回**の出場は認めない。ただし、**女子選手**の場合、出場機会の確保という観点から自チームおよび女子選抜チームでの登録・出場を特別に許可する。）
- ⑨ 背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

⑩リーグ戦に関する規則（A, B, Cの3チームでのリーグ戦の場合）

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 第1試合の「敗者」とし、第3試合を「C」対 第1試合の「勝者」とする。

※ただし会場の都合で、会場のチームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b 会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点（勝利チーム勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。）の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー（振り逃げを含む）などで、

1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数=5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

1.1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。（ただし1チーム20名を超えて試合に出場することはできない。）

1.2 その他、お願い等

・この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。

・**雨天以外（急な学校行事など）での日程の変更は行わない。**都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、所定の様式に記入しメールにて連絡すること。それ以外での変更は配慮しない。（子どもたちが主役であるので、できるだけの努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。）

・組み合わせが決まった後の参加、不参加は認めない。

・毎回、会場校が少なく、組み合わせ作成に難航しています。

プログラム原稿にも記載がありますが、

現行の【◎参加、会場校 ○参加のみ ×会場】新たに **調整次第で確保が可能△** を追加しております。グラウンドがかなり狭い等の物理的な理由は×で構いませんが、積極的に ◎や△でお願いしたいと思います。

・何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 専務理事 森谷 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp